

令和6年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・国際臨海実習コース「International Marine Biology Course」		
実習内容	<p>佐渡島には多様な海岸環境とそれに伴う様々な海洋生物の生態系が見られる。本実習では、佐渡の海の特性を活かし、磯でのシュノーケリングを始めとする様々な手法を用いて採集した生物を観察・同定するとともに海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。さらに、観察結果をグループで討論・発表することでお互いに理解を深める。</p> <p>本実習は、主に南・東南アジア諸国からの学生が参加する国際臨海実習と合同で実施し、説明などは基本的に英語で行う。ただし、必要に応じて日本語によるサポートも行う。</p> <p><u>海洋生物採集・観察・同定：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シュノーケリングによる磯生物の観察・採集 ・ たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集 ・ 実習船でのプランクトンネットを用いたプランクトン採集および採泥器を用いたペントス採集 ・ 砂浜でのウミホタル採集と生物発光の観察 ・ ウニの人工受精と胚初期発生の観察 <p><u>講義/発表：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡の海の特徴と海洋生物の多様性、系統分類、外部講師による特別講義 ・ グループおよび個人による、生物の観察結果・考察の発表 		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、プランクトン、ペントス、種多様性、進化、形態、発生、系統分類、生態系		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、飯田碧（臨海実験所・准教授） 大森紹仁（臨海実験所・助教）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	Prof. A.A. Mohamed Hatha（コーチン科学技術大学・インド）、 Prof. Md. Shahjahan（バングラデシュ農業大学・バングラデシュ）、 他1名の外部講師を任用予定		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生 (大学院生も可)	開講期間	2024年9月21日(土)～25日(水) 4泊5日
開講大学・施設名	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
施設の住所	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	実習期間中の食費、寝具クリーニング代および雑費：約 10,000 円		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2 単位	定員数	約 6 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。 締め切り日は 2024 年 7 月 24 日（水）。応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着のこと。		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する。		